



# 荒れる学校からの脱却

～ ライフスキル教育による学校づくり～

中野中学校 井上 和俊

# 中野中学校

創立62年目



生徒数 平成18年度 439人

平成20年度 387人



平成18年度 中野中学校

# 荒れの現状

## 届かない教師の指導

- 器物損壊 落書き 暴力行為
- 授業離脱 授業妨害
- 喫煙 飴・ガムなどの散乱
- 火災報知器を鳴らす 放水する
- 爆竹 煙だま 花火
- 暴言
- 学校内での金銭盗難
- 携帯電話
- 私語に包まれた入学式や朝礼



H18 職員・来客玄関

廊下天井



# 教室照明スイッチ





生徒用トイレ





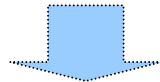
# 平成18年4月 生徒の現状把握

- 授業中、3年生の男子が2年生の教室にやってきて「ものを渡しに来た」と言った。  
今は授業中だからと言ったが教室内に入って教師に悪態をつき授業を中断させた。
- 授業時間中ベランダに出ている3年男子4名。歌を歌い出す子、ものを外へ落とす子。下へ出ていって中にはいるように注意するが聞かない。
- 特別支援学級のAさん、給食当番で食器をとりに行く途中3年生の女子に廊下に落ちていた葉っぱをこれ食べよ」と言われたと言っていた。
- 職員玄関の下駄箱からA教師の靴が消えた。探した結果、片方はゴミ箱の中から、もう片方は花壇の中から見つかった。

- 「授業に出るように」と注意を受けたAくん。  
「むかつく」と言って、玄関前にあった花の鉢を蹴飛ばす。「どうしてそんなことをしてしまうの？」と聞くと、「むかつくから、うぜーから」と…。「ものを壊したり自分が痛い思いをして後悔することはないの？」と聞くと、「あるよ」とぼつりと答えてくれた。
- 廊下でサッカーボールを蹴っていた生徒に校舎内でやらないように声をかけた。  
何度も繰り返すので、大声でボールの方を叱った。

# 子どもたちの抱える問題

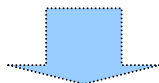
- 自尊感情が低い **自信を持ってない**
- 自己主張・自己表現力が未熟  
**うぜー かんけー（関係）ねー あっち行け**
- 忍耐力がない
- 家族構成・家庭の雰囲気の変化



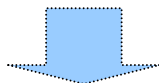
投げやりな言動に傾く  
不登校・敵対行動への移行  
役割をやり遂げることができない  
急がせる教育 親子が接する時間の減少

# 教師の抱える問題

- 事後処理に追われる日々 (不夜城)
- 何をやっても通じない
- やるだけやったがもう限界
- 精根尽きた
- でも頑張っている生徒がいる



協調・連携を進め、教師の力を結集し、改善を図る  
方法を模索



テトラSの導入(5年前)

# テトラSとは(4つのS)

School Subject Support System

## 学校課題支援法

学校運営や生徒指導でつまず  
いている学校を実際に改善しな  
がら作り上げた、実践的手法





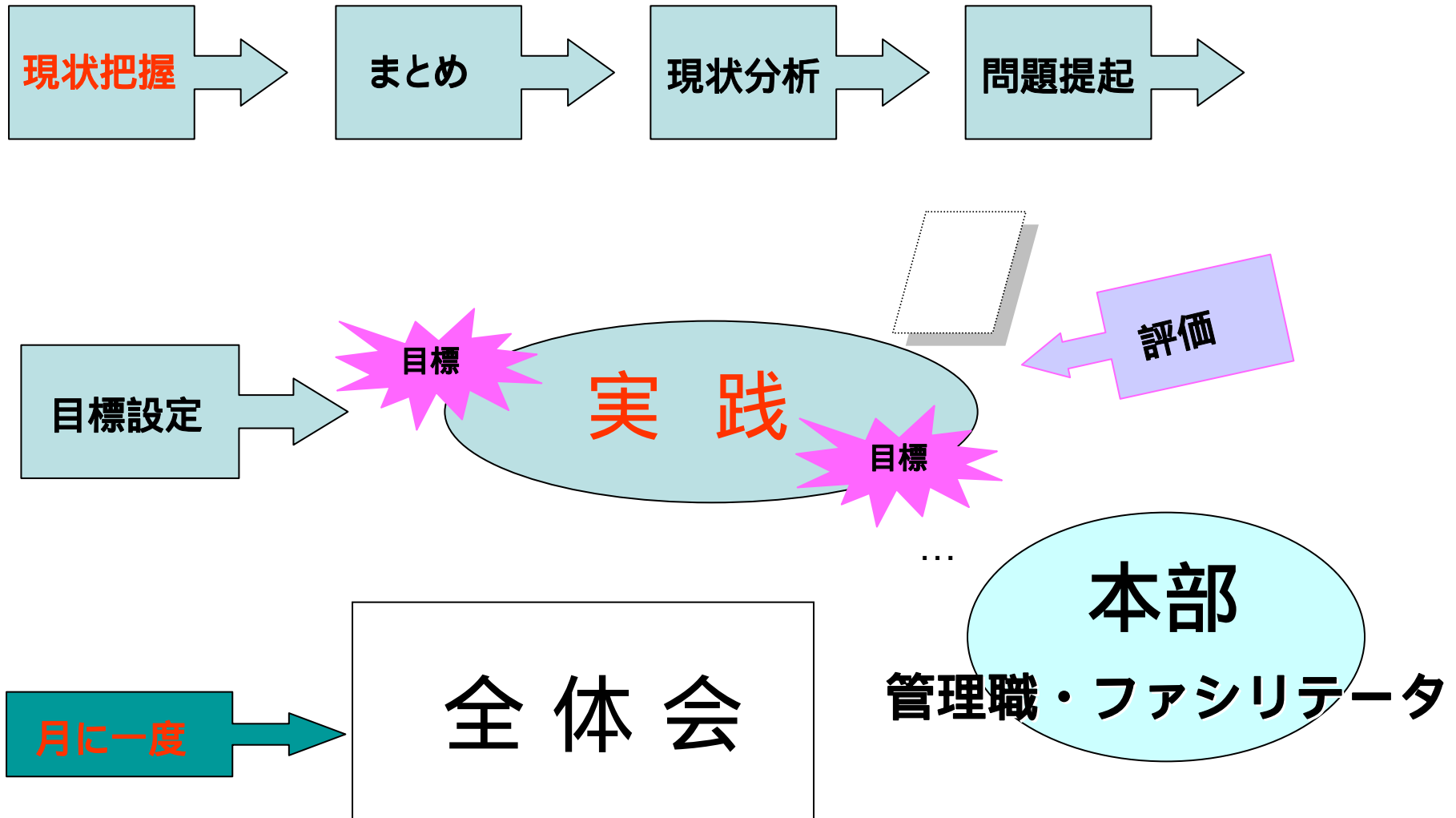
# テトラSは班活動が中心

- くじなどで班編成を行う。
- 班のメンバーは原則8名。
- 話し合いの掟は「相手の言い分を否定しない」こと。



# テトラSの流れ

下のサイクルを繰り返していきます



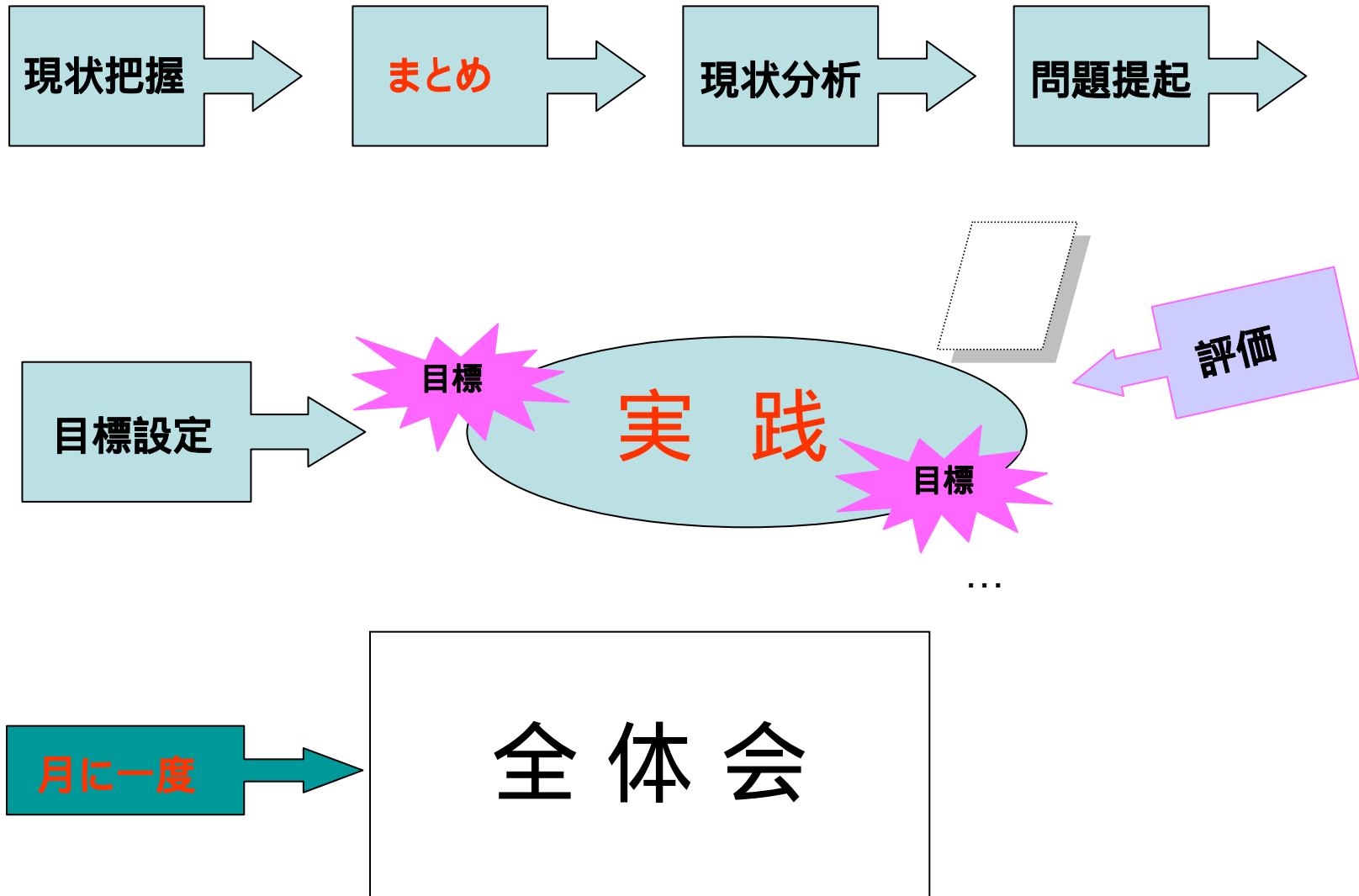


# 現状把握カードの例

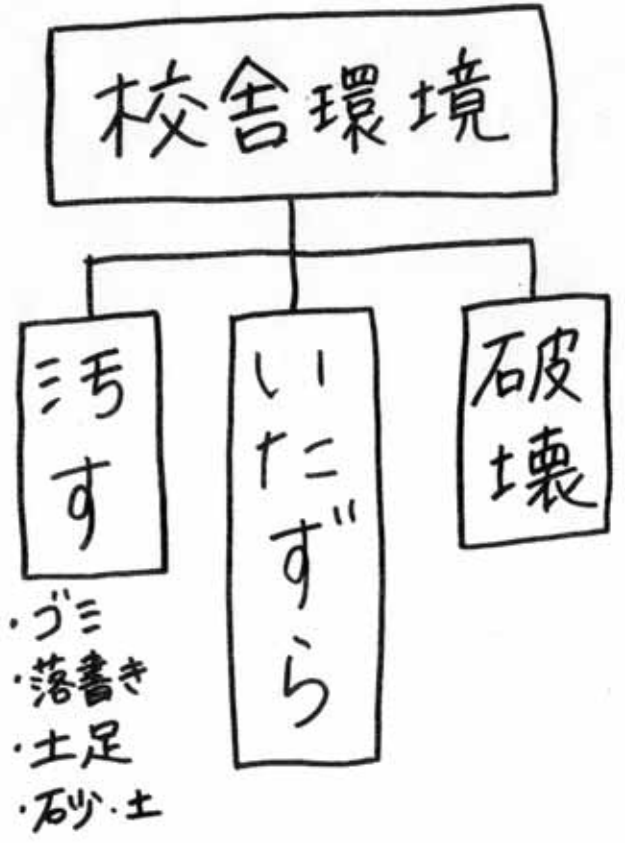
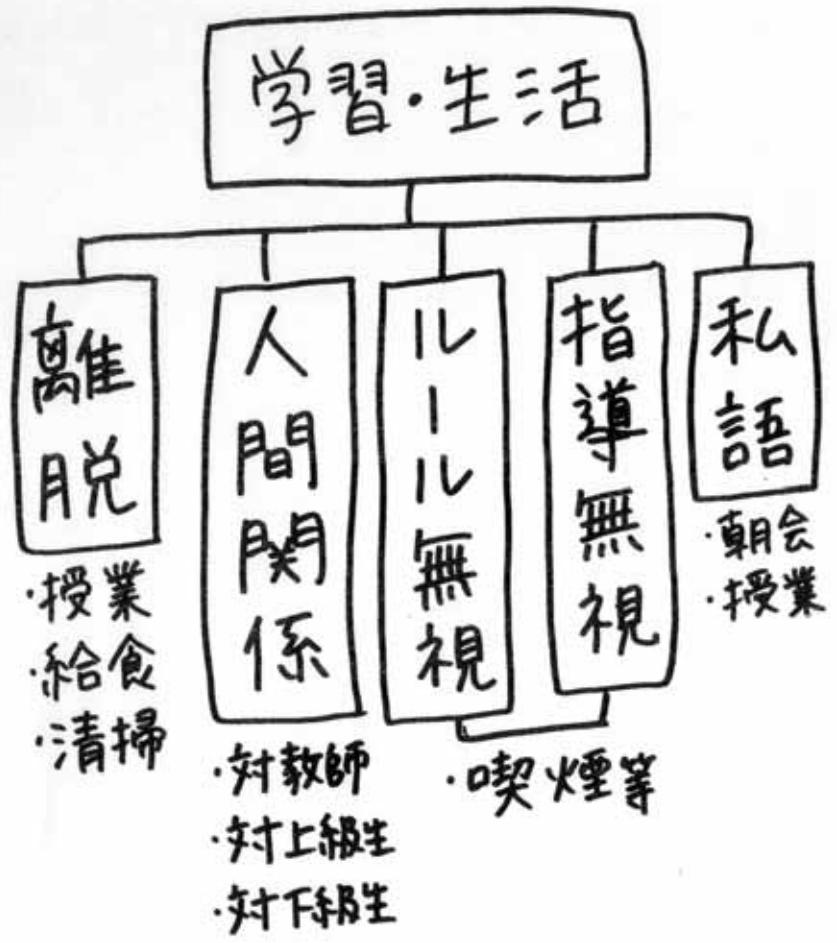
- 掃除の時間、Aくんは持ち場を離れて遊んでいたもので注意したところ、担当のトイレ内の蛇口を全開にして教室に帰って行った。

# テトラSの流れ

下のサイクルを繰り返してゆきます

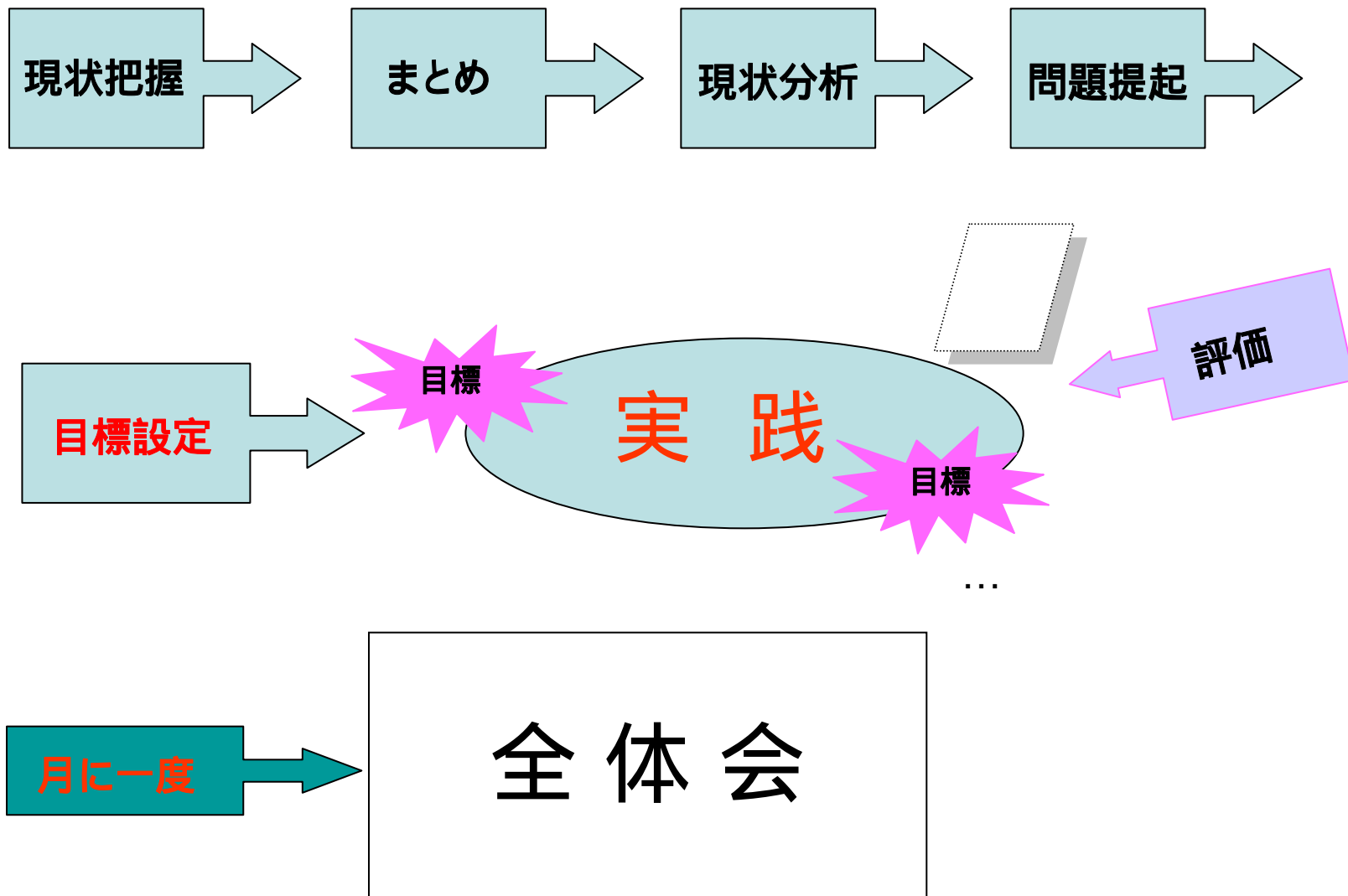


# あるファミリーの現状把握のまとめ



# テトラSの流れ

下のサイクルを繰り返してゆきます



# 各ファミリー(班)の行動目標

## 1学期の取り組み

- Aファミリー  
落ち着いて授業に取り組む環境を作るために1日10個のゴミをひろう
- Bファミリー  
1週間に10個、生徒の良いところを探す
- Cファミリー  
毎朝、昇降口であいさつをしながら生徒を迎える
- Dファミリー  
目標設定できず

# 1学期のふり返り

- Aファミリー

生徒達に直接関わりがある目標でないと、生徒達は変わっていかないのではないか

- Bファミリー

生徒のことをより理解できるようになった

- Cファミリー

声をかけられるのは同じ生徒が多いので、どう広がりをもっていくか

- Dファミリー

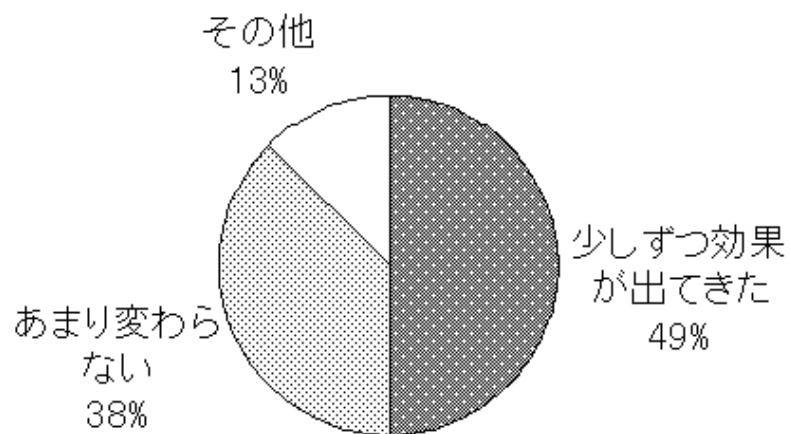
ひとつひとつの事例に時間をかけ、さまざまな側面から考えることができた

# 2学期の取り組み

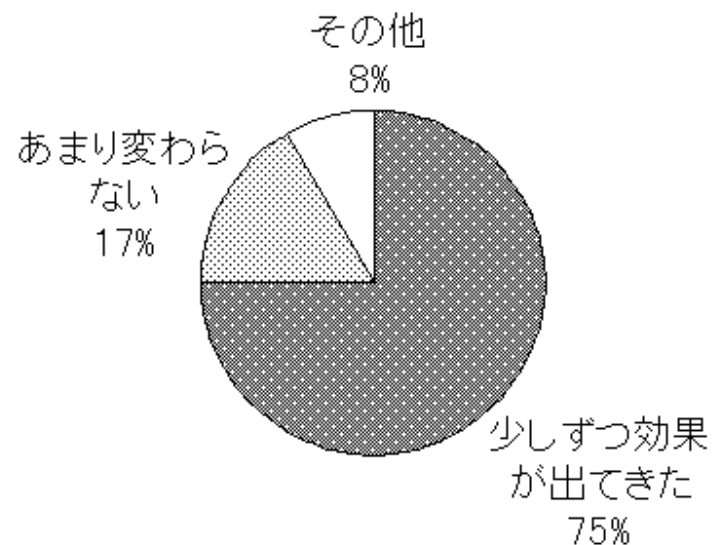
- Aファミリー  
生徒のほめる部分を見つけ、声をかける
- Bファミリー  
生徒の良いところを探す
- Cファミリー  
毎朝、昇降口であいさつをしながら生徒を迎える
- Dファミリー  
10分休みと昼休みは教室または廊下で過ごす

# テトラSの効果について

テトラSの効果について(10月)



テトラSの効果について(2月)





# 1年間の実践を通して

- テトラSの目的

- 教師間の連携を強める

- 子どもの見方を変え、私たちの固定観念を崩す  
(私たちの意識を変える)

教師と子どもたちの人間関係を向上させる  
これらのことから派生する力が学校をよりよく変えていく

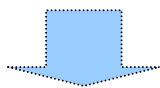
- 実践には基本的な考え方が非常に大事

子どもに寄り添う

生徒を変えるために、まず自分たち教師が変わろう

# 少しずつ効果は出てきたが 依然として発生する問題

- 教師が連携する基盤は出来てきた



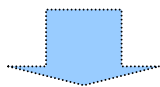
- 具体的な方法の導入が必要と判断

責任感や自信の形成 コミュニケーションの方法

感情や態度のコントロール

家族や友人とのよい関係づくり

意志決定方法 など



思春期のライフスキル教育の導入(3年前)

H20.10月 単元2 本当の自信とコミュニケーション  
スキルの育成「適切な意志決定ができるようにする」









# 1年生の授業風景(H21年1月)

- 単元3 心の成長と感情のコントロール

授業1 多様な感情を確認する

授業2 感情について調べる

同じ場面でも、人により抱く感情が異なることについて調べる。

授業3 言動が他者に与える影響

授業4 肯定的に受け止め、行動する

授業5 メッセージを使って感情を伝える

Math 101

Chapter 1 (1-3)  
Linear Equations  
Graphing Lines





## ライフスキルの授業についての振り返り(アンケート集約2007)

2年前から、総合的な学習の時間を使って、ライフスキルの授業が行われるようになりました。ライフスキルの授業は、生きる力や問題に直面したときのよりよい解決の方法などを学習するものです。ライフスキルの授業を受けてどう思いますか。生徒にアンケートに答えてもらいました(2008年5月実施)。その結果をまとめました。

1. ライフスキルの授業はこれからの生活に役立ちそうですか。A～Dの記号で教えてください。

A：かなり役に立つ　B：少し役に立つ　C：あまり役に立たない　D：役に立たない

	A	B	C	D
全体	12%	64%	18%	6%
3年	6%	64%	21%	7%
2年	15%	64%	16%	5%

\* 全体で、8割近くの生徒がライフスキルの授業を役に立つと感じている。

\* 教員の授業研究がさらに必要である。

生徒の感想 平成20年5月

< 2年生 >

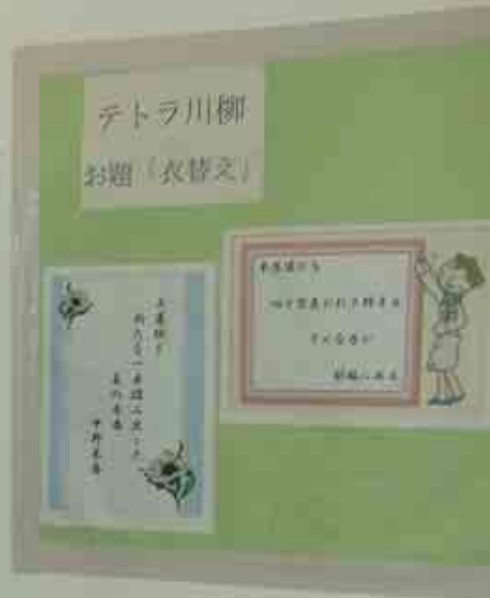
- ・相手とのつきあい方を、よく学ぶことができました。これを使って社会に出て、うまくやれるようになりたいと思いました。
- ・この授業をやって、上手に聞く方法が身についた。最初は面倒くさいと思うけれど授業が終わると聞いてよかったと思う。
- ・言葉で相手が気分がよくなること、悪くなることもできると分かった。怒ってばかりではいけないと思った。
- ・ボランティア活動が一番印象に残った。自分たちが何か手伝いをすることで、他の人が助かるからよいと思う。
- ・相手の気持ちを考えること、自分がされていやなことは人にしない方がよいということを学んだ。ライフスキルは共感できることがあったし、正しいことを教えてくれるから楽しかった。
- ・自分の気持ち以外に、人の気持ちを考えられるようになってきたと思う。
- ・友だち関係で助かる。
- ・人はそれぞれ思っていることが違うことが分かった。
- ・自分はあまり自信がもてない時がたくさんあって色々考えていたんだけど、ライフスキルをやって自信を自分でつける方法が分かった。
- ・1年のはじめの頃は、何のためになるのか分からなかったけれど、やってみてためになりました。

### < 3年生 >

- ・人にはいろいろな考えがあると分かったし、断ることの大切さを知った。薬物の怖さも分かった。絶対にやりたくない。
- ・ASKでは、相手にいやな思いをさせないようにとかを考えてやったから楽しかった。
- ・テーマが学びやすかったり、たくさんの場面が想定できたからよかった。
- ・普通の授業と違って、ライフスキルでは生活する時に使うことができる。
- ・生活しているときに使うことはないかもしれないけれど、知っていて損をすることは無いと思うから、勉強していいと思う。
- ・人とのコミュニケーションを学んだ。
- ・自分の考えをちゃんと伝えることの大切さを学んだ。
- ・薬物使用があたえる影響、アルコールとたばこの影響は、一度始めると抜け出せなくなるという、恐ろしい力を持っている。
- ・薬物に関わればどれだけ迷惑かけるかなど、こんな人間になんかなりたくないと思ってしまう時に思いました。
- ・困ったときに使えることがあった。機会があったら使ってみたいと思う。
- ・自分の気持ちを表現できた。分かりやすく楽しい。
- ・薬物などについて知らないことが、授業で出てきたので勉強になった。

# 落ち着きを取り戻してきた学校

- 器物損壊、落書き等が激減  
きれいな学校環境復元・維持  
施設修繕予算が残るようになった
- 授業離脱生徒の減少、授業妨害の激減  
チャイムと同時に授業開始
- 私語のない朝礼
- 活気あふれる学校行事
- あいさつの励行



職員・来客用玄関

廊下天井

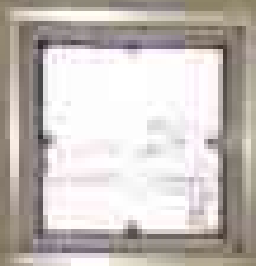


# 教室照明スイッチ



一括制御方式

生徒用トイレ



25









しんがく  
の  
すゝめ  
す



教室別

理想の實現  
理想の實現  
理想の實現  
理想の實現  
理想の實現

オープンスペース

# 教室揭示



# 3年生英語の授業



# ライフスキルコーナー

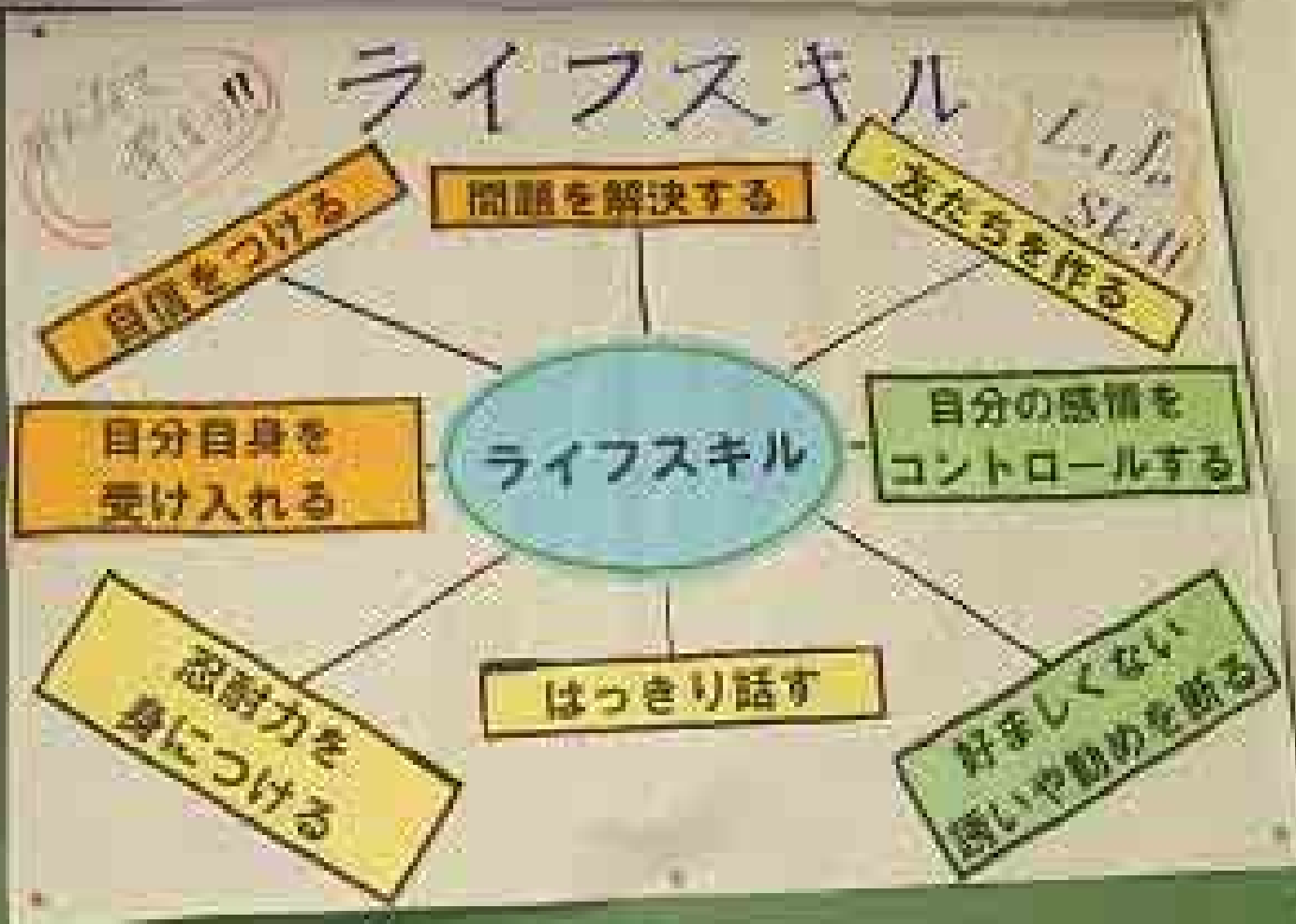
今日の言葉  
一方的に押し込まれても  
忘れてしまう。  
数えられぬ苦味を味わうよりも、  
自分ですれば、習得できる。

今日の言葉  
相手の話を聴くだけでなく  
自分も話せよう。  
理解し合えれば話も  
聞けることには違いない。

今日の言葉  
心優しい言葉や声は  
手ごたえを蓄えている

今日の言葉  
同じ状況であっても  
人によって  
感情は異なる

今日の言葉  
できると思えるのも、  
できないと思えるのも、  
すべて次第



**本時の学習**  
 今日から学習することを

**授業の4原則**  
 1. チャームと開放に学習を促す  
 2. 自己効力感の向上  
 3. ...  
 4. ...

# ライフスキル

自信をつける

問題を解決する

自分の感情を  
コントロールする

はっきり話す

自分自身を  
受け入れる

好ましくない  
誘いや勧めを断る

友だちを作る

忍耐力を  
身につける





あいさついっぱい運動



あいせいのぼい  
あいせいのぼい  
あいせいのぼい

あいせいのぼい  
あいせいのぼい  
あいせいのぼい

あいせいのぼい  
あいせいのぼい  
あいせいのぼい

# 運動会





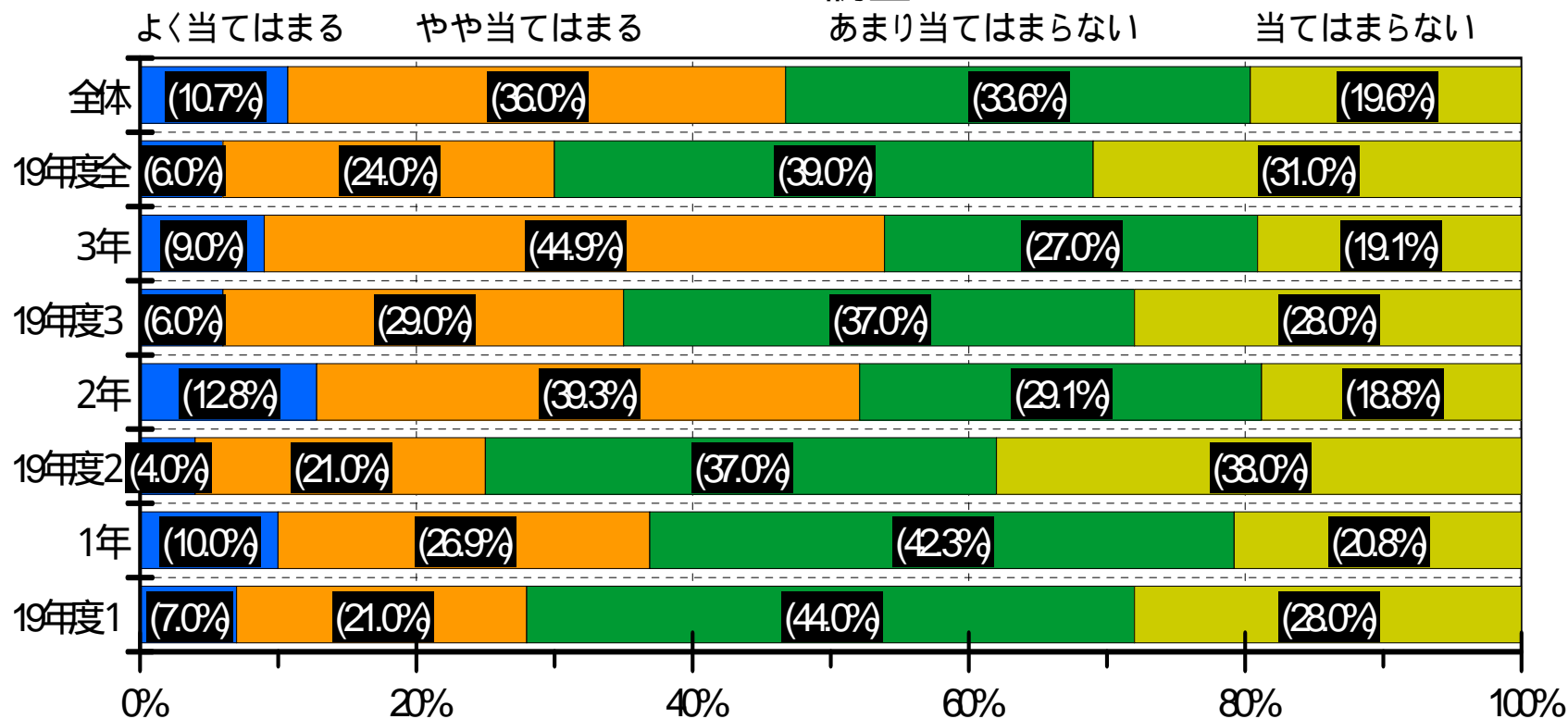
文化祭の合唱コンクール

# 学校生活アンケート調査結果

H20年11月

## 2.先生(先生方)に相談しやすい

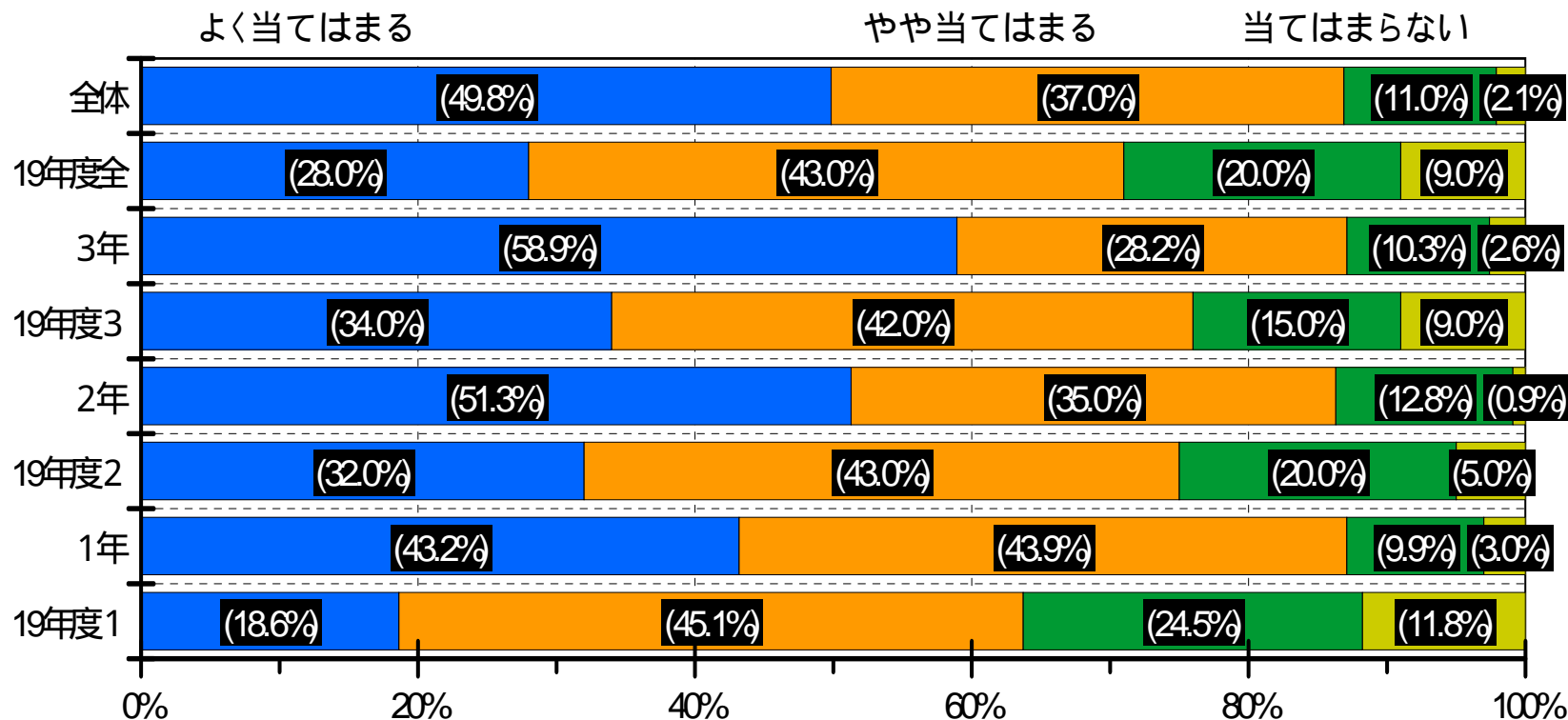
H20.11調査



明らかに向いているのが見られます。各先生方の努力の結果が、生徒たちからの信頼を獲りてきたと考えられます。

### 3. チャイム着席をはじめ 時間が守れている

あまり当てはまらない



大きな向上が見られます。調査が11月とらことであり、生徒による呼びかけが始まる前ですがこの差です。

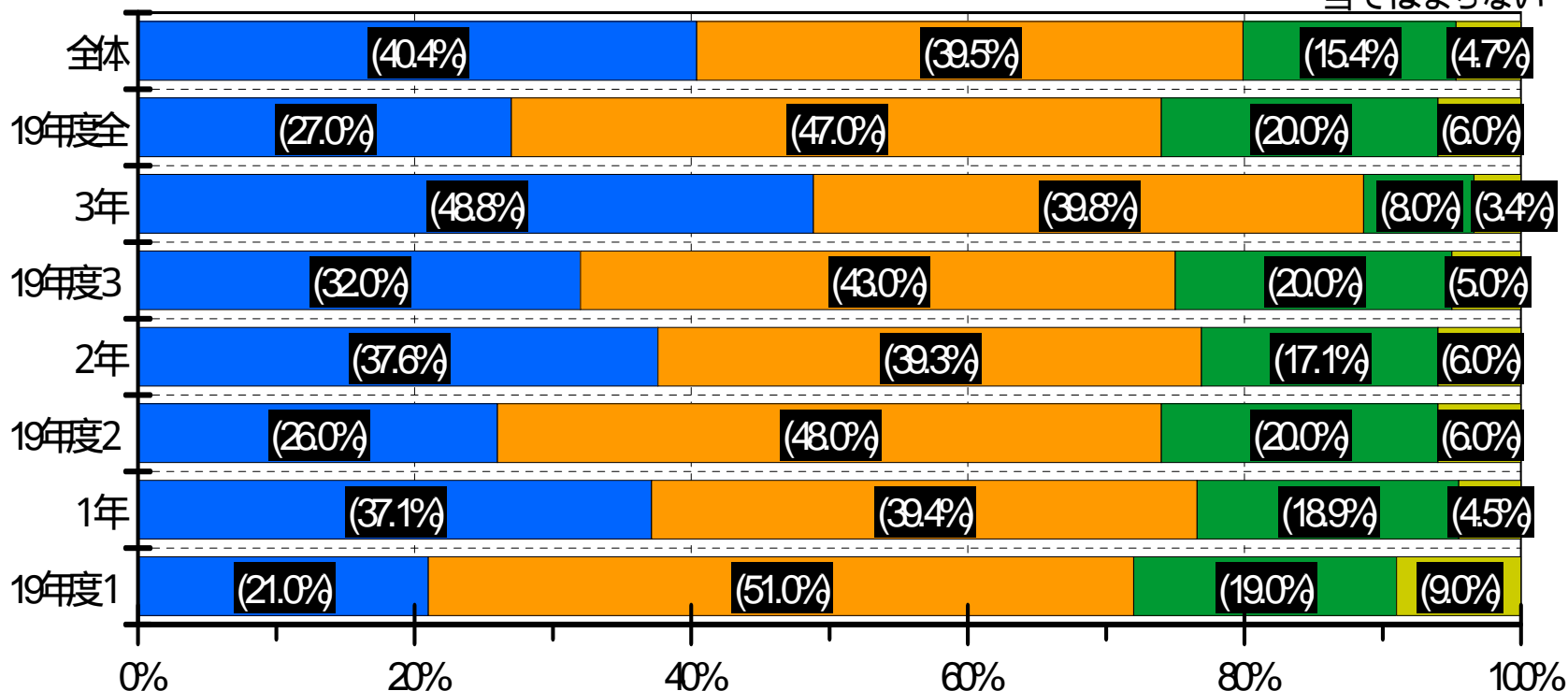
## 6. 当番種には身支度を含めしっかりと取り組んでいる

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

当てはまらない



全体的に明らかな向上が見られます。

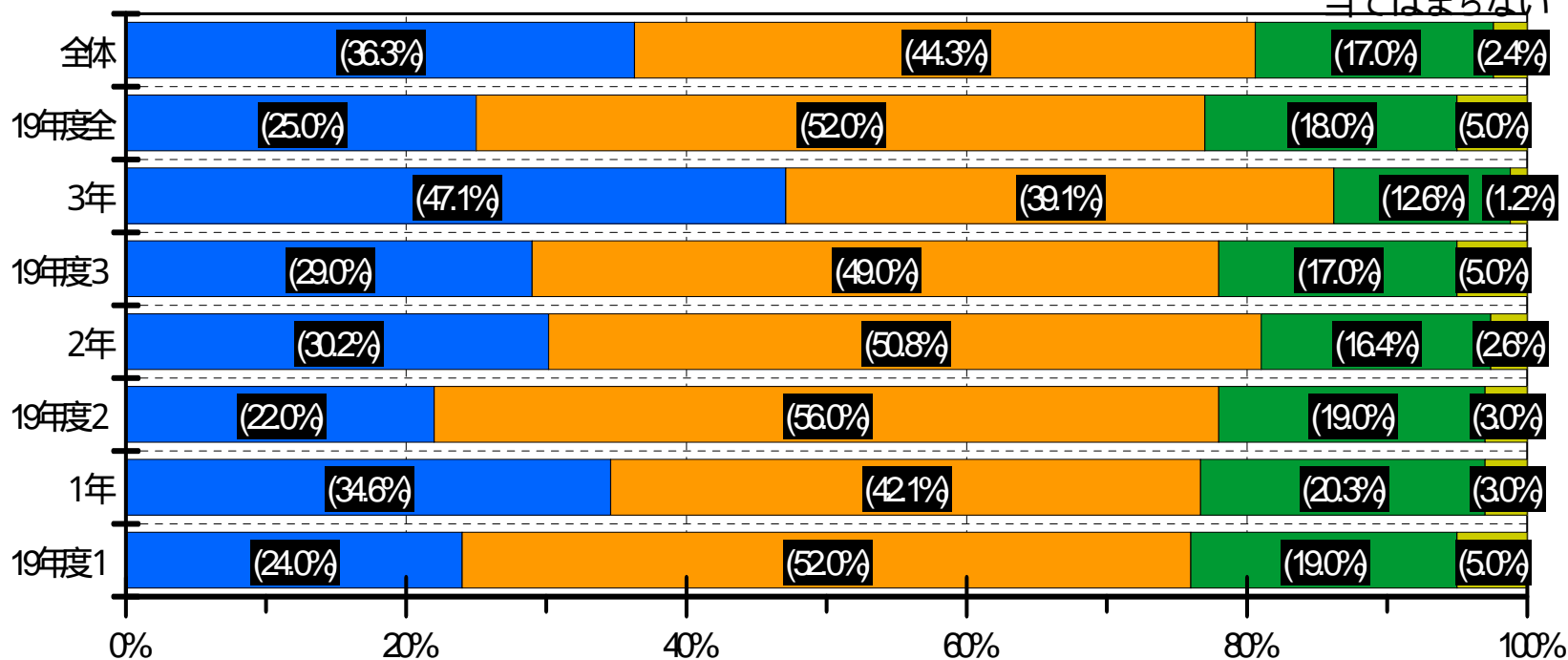
### 13. しま(マナー)をきちんと守って学校生活を送っている

よく当てはまる

やや当てはまる

あまり当てはまらない

当てはまらない



12と同じように3年生の意識の高さが特徴的です。2年生も1年から2年へ進級する中でよい方向に進んでいる点も好ましい状況です。





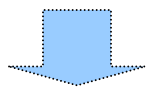
# 平成20年12月 生徒の現状

- ・ 2階オープンスペースにいた2年女子2人に授業だと声をかける。すぐには動こうとしなかったが数分後には姿が見えなくなった。
- ・ 1年組のAさん、クラス全体の取り組みに参加できずチャイム前着席をしない。他の生徒が座ろうと声を張り上げても参加しない。Aさんが休むと1年組はがつく。
- ・ 休み時間、携帯電話を出していたAくん「預けなさい」と言ったが預けず、隠しながら去っていった。
- ・ 1年男子Aくん。授業に遅刻して来たが何も言わず自席に着き机に伏せて何もやらない。起こして課題を提示したが、少ししたらまた机に伏せていた。

- ・ 2年生Aさんの喫煙現場を目撃。家庭連絡を担当からしたところ、母親から事実かどうかの確認がある。一人で携帯電話をいじりながら喫煙していたのに、電話している母親の前では他の生徒と2人でいたと嘘を言う。
- ・ 1年男子Aくん、授業に集中できず教卓近くをうろろうしていたので注意したところ、わざと足を踏んできた。上履きがサンダルだと気付いたAくん、「シューズでなかったんだ、ごめん」と言った。
- ・ 遅刻欠席の多い3年生女子、終業式の日、遅刻して登校する。保健室のベットに寝ころび「だるい、眠い」を連発。「今日までに提出するものがあるでしょう」と聞くと、「時間がなくて進路関係書類をかけなかった」、「やる気の問題だよ」と言うと、「やさしい言葉をかけてよ」と…。何も言えなかった。

# 現在そしてこれからの取り組み

- 授業離脱生徒 減少から0へ
- 授業の質の向上(教師)
- 人権感覚の向上(言葉遣い)
- 生徒活動の充実(学校改善運動)
- 携帯電話の取扱い問題
- 不登校生徒の減少



**ライフスキル教育の継続と充実に取り組む**

子どもたちが、自分を大事に、人を大切にしながら、たくましく生きていけるよう育てていきたいと思  
います。

ご静聴ありがとうございました

